

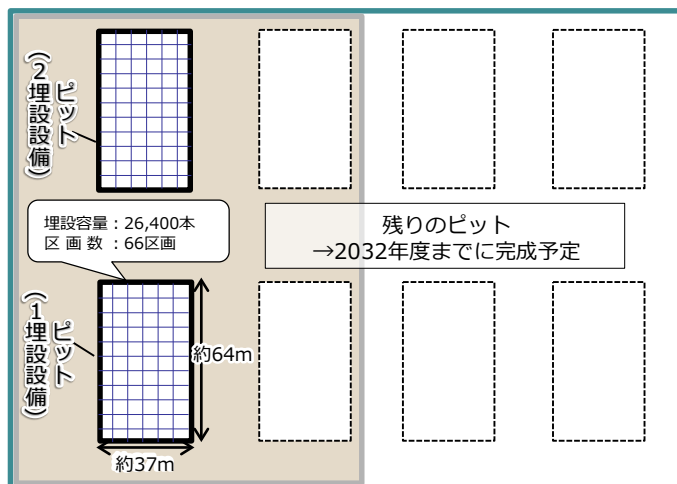
# 低レベル放射性廃棄物埋設センター 3号埋設施設の建設状況

当社は、全国の原子力発電所の運転に伴い発生する廃棄物を受け入れてきていますが、1号埋設施設は操業開始から32年、2号埋設施設は24年が経過し、満杯に近づいています。

今後も発生する廃棄物を、継続的に受け入れ、埋設事業を安全かつ確実に進めていくために、3号埋設施設の建設を進めています。

3号埋設施設では最終的に8つのピットを構築する計画ですが、今年度中の操業開始に向けて、まず2つのピットの構築を進めています。

残りのピットも、来年度から順次、構築を進め、2032年度までに全てのピットを完成させる計画です。



掘削済 3号埋設施設 配置図

## 【3号埋設施設 建設の経過】

地表面から約21m下まで掘り下げ、2021年10月に岩盤検査を実施して以降、岩盤へのコンクリート打設、底版・側壁のコンクリート打設などピットの構築工事を進めてきました。



岩盤検査  
(2021年10月)



岩盤へのコンクリート打設  
(2021年11月)



ピット底版のコンクリート打設  
(2022年8月)



ピット側壁のコンクリート打設  
(2023年6月)

## 【3号埋設施設 現在の工事状況】

現在、2つのピットはほぼ完成しており、ピットの隣では廃棄物の定置や仮蓋の設置に使用する3号埋設クレーンの組み立て作業を進めています。

また、ピットのそれぞれの区画では、廃棄物を定置する支持架台を設置する作業も行っています。



3号埋設施設の全景



区画内の廃棄物支持架台の設置状況

今年度の操業開始に向けて、安全を最優先に工事を進め、地域の皆さまにご安心いただける安全な施設を作り上げてまいります。